

開校記念行事

本校は1934（昭和9）年4月に島根県立江津工芸学校として開校し、その翌年の5月16日に開校式並びに竣工式が挙行されました。それを記念して毎年5月16日（あるいはその前後）に全校生徒が集う「開校記念行事」を行っています。

今年は、新型コロナウイルス感染症予防のため中間試験最終日の6月5日（金）に放送で行われました。田村校長先生より本校の歴史と校歌の制定について講話がありました。新型コロナウイルス感染症防止のため高校総体やものづくりコンテストなどあらゆる大会が中止となり非常に残念な思いをした経験は、いずれは次のステージで生かされることについて話され、1970年（50年前）の本校野球部が春夏連続甲子園出場した際の当時甲子園で流れた校歌を聞きました。最後に、平等に与えられた時間の中で君たちがどう過ごすのか、未来を切り拓くのは自分次第であること、今できるベストを尽くしてほしいと話されました。



<校歌>

昭和19年5月24日 校歌制定

作詞 葛原 函

島根県立江津工業高等学校 校歌 [昭和25年11月修正]

1番

旭光燦たる星高山と
我等の學舎理想は崇し
世界にあまねく歡喜を
光を満たすと創造の
歩に窮めん眞理の高嶺
氣高き誓に輝やく行手
角の浦回に心身錬りて

朝日を浴びて神秘的に輝く星高山の姿に、
純粋な若者の理想を重ね合わせ、**世界を
創造してゆく**生き方を求めている。

2番

常緑映えては伸びゆく松の
しめすは至誠か久遠の啓示
夜書注ぐ江の川
怒濤萬里の日本海
質実剛健矜も永久に
不撓の雄叫び競ふか我と
我等の學舎使命は新た

砂浜に伸び続ける松の緑と流れてやまぬ
江川に永遠に続く**質実剛健の姿勢**を、日
本海の逆巻く怒濤に雄雄しい**不屈の精神**
を重ね、その**伝統の継承**を求めている。